

4

Freeze.

フリイイイ (ザ)

動くと撃つぞ

かつて、ハロウィーンの日にアメリカ人によって射殺された高校生がいた。法廷に立った被疑者は、正当防衛で無罪となった。拳銃を構えて、「動けば撃つぞ」といって警告をしたはずだ、という。その英語は Freeze! であった。アメリカ映画でよく耳にする英語だ。これを Please! と聞き間違えたわけではないが、その哀れな高校生も、ストップウという、和製英語を耳にしていたら、止まっていただろう。アメリカを許さないという怒りの感情もよくわかるが、英語教育にも責任の一端はあると思う。音声としての英語教育のあり方を総点検する時期が来ていると思う。ビデオを観ていて、「そこだ、そこをもう一度」という場合にも stop は使わず、Freeze the frame. を使う。近頃の日本の教育者はビデオを教材にストップ・モーションを用いる。このカタカナ英語を正しい英語にすると、Freeze frame. と2秒以内。ネイティヴは1秒。

フリーズ フレーム と。